http:／／joonji.jp

真宗大谷派
浄恩寺
浄恩寺　雅楽葬　検索

令和２年　１月　第４２３号

浄恩寺同朋会報

電話　０５２－８１１－８４７４

旧年中はお世話になりました。本年も何卒よろしくお願い致します。

住職は年男です。たぶん、一年ネズミのようにチョロチョロ駆け回ることなるのではないでしょうか。

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要

法要期間

・第１期法要］　２０２３年　三月二五日から四月八日

・第２期法要　四月一五日から四月二九日

・［讃仰期間］　四月九日から四月一四日

右記の法要が本山で勤まることが決まりました。東日本大震災、二〇一一年の親鸞聖人七五〇回忌御遠忌法要以来の大規模な法要になる計画です。

慶讃事業の総予算は三五億円です。そのうち約三〇億円は懇志金として、全国の寺院に割り当てられました。

浄恩寺は四一五〇〇〇円が御依頼金額です。門徒の皆様にご協力頂こうかと考えましたが、今回は皆様にご負担をかけず、お寺の会計で支払うことに決め納金致しました。

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ

『南無阿弥陀仏　人と生まれたことの意味をたずねていこう』

私たちはみな、歳を取り、病気になり、死をむかえるいのち。誰とも代わってもらうことのできないいのちを生きています。そのようないのちを生きる中で、時として、苦しみや悩みをかかえ、不安に押しつぶされそうになり、生まれたことの意味を問い、たずねたことはないでしょうか。しかし、そのように自らの根源を問うことさえも、私たちは、善悪、優劣などの日常の意識、分別の心から離れられないのです。人と生まれたことの意味さえも、人間の眼、人間のものさしで考えて行くのでしょう。このたびのテーマは、そんな私たちに、南無阿弥陀仏という本願の名号、仏さまの願いが表されたその名をとおして、仏さまの願いにふれ、「人と生まれたことの意味」をあらためて問いたずねてほしい、との思いが込められています。

宗務総長　但馬　弘

「昨年始めた健康維持装置」

左膝の靱帯再建術をして七年、八月頃から、両膝関節が曲がりにくくなり、痛みも出始めました。本山参勤を前に、ヒアルロン酸注射、サプリ、そして、写真の「シックスパッド」を購入して筋トレを始めました。

なんとか本山の仕事を終え、その後、膝関節の痛みが和らぎました。十二月末、年に一度の執刀医の検診で、何が膝に効いているのか尋ねると、「シックスパッドが有効」だと先生は言われました。筋肉と関節のアンバランス（筋肉の退化）が改善されてきているのではないかとのことでした。老化は足から来ると言われます。足先のしびれも改善しました。毎日の歩行運動と並行して、シックスパッドのトレーニングを継続していこうと思います。